

日野・生活者ネットワークニュース

No.158

2020年4月20日発行

発行/日野・生活者ネットワーク 発行責任者/出沼恵美子
〒191-0062 日野市多摩平 2-3-12 中央日石ビル 4F
URL <http://hino.seikatsusha.me/>



2020年度予算要望への回答

日野・生活者ネットワークでは、私たちが納めた税金の使い道も市民が決める方法として、予算要望書を提出する活動をしています。2020年度の予算に対し、市民の皆さまから頂いた一言提案と、市議選の政策を加え、10件の予算措置を求め、日野市から回答を得ました。その中から2件を報告します。

★市の関連施設等で使用する電気のLED化を進めるとともに、再生可能エネルギー100%に切り替えたい。

【回答】 学校施設では、器具の更新時などにLED化を推進する。公共施設の再生可能エネルギーの導入は基本的な方向性としては位置づけているが、費用なども考慮する必要がある。



★ふれあい橋歩道・自転車道の社会実験を早期に行い、歩道の改修に着手すること。

【回答】 令和2年度には橋の特性（変状や振動など）や損傷の原因を把握するための基礎調査を計画。3年度にその調査をもとに3案ほどの試験施工の実施を計画。

日野市は、財政非常事態宣言をだし、厳しい状況ですが、その財政運用を見守りたいと思います。来年度予算につきましても、皆様からの「一言提案」をお待ちしています。

新型コロナ・臨時休校に伴う市への要望

臨時休校中の子どもの居場所の確保や見守り強化、くらしの相談窓口の設置等を求める要望書を3月3日に提出しました。

市は図書館や児童館の開館を続け、学校も教室や校庭の開放を始め、できることに努めました。子どもたち、保護者にとって、不安を抱える日々となりました。（※緊急事態宣言後は対応変更）

事態は刻々と変わっています。皆様も仕事や日々の活動の停滞で気持ちが沈みがちだと思います。お困りのことや、ご相談をお寄せください。

ゲノム編集食品

ってなあに？

「生活クラブ運動グループ 日野地域協議会」主催でゲノム編集食品ってなあに？と題して学習会を開催しました。

ゲノム編集食品とは、遺伝子に組み込まれている指令を変える操作で、特にノックアウトという遺伝子切り取り型は研究が盛んです。そのキットが簡単にインターネットでも手に入ることや低コストであることから、今後ベンチャー企業などによる健康食品のネット販売などが懸念



が選ぶための表示義務はなく、昨年10月より自主的情報提供を開始したに留まっています。生活者ネットワークは、国に表示義務を求めていきながら、ゲノム編集食品に対する取り組みを今後も続けていきます。

されます。

国は、「問題ない」としていますが、人為的に作り出したものが、体内で何かしらの変異を生み出さないと誰にも言い切ることはできません。また、消費者

日野・生活者ネットワーク 30周年記念事業

ジェンダーかるた(仮称) 作ります!

あなたのモヤモヤ、それってジェンダー？
ジェンダーとは、社会的に生まれた性差、固定的な役割分担や思い込みのことです。
日常の中でのジェンダーのあるある、ぜひお寄せください!



【応募方法】
20文字以内で下記までご応募ください。(締め切り:2020年7月末)
郵送(ハガキ可)、ファックス、メールいずれでも受け付けます。
①お名前(ふりがな) ②ご住所 ③メールアドレス(ない場合は携帯電話)
④作品及びひと言コメント(お一人さま何点でもご応募いただけます)

【お問合せ・お申込み先】
ジェンダーかるたチーム
〒191-0062 日野市多摩平2-3-12中央日石ビル4階
日野・生活者ネットワーク内
電話 042(514)8695 ファックス 042(514)8697
メール:hino-net@cap.ocn.ne.jp

詳細はこちら ▼

